

11月4日担当：佐川 馨

1コマ目は、今年度卒業したばかりの二人の新米教師の体験発表であった。若い先生ならではの子どもたちとのあたたかな触れ合い、教育現場での数々の新鮮な体験と失敗談、同僚教師や父兄とのかかわりについてなどなど、教師を目指す学生にとってはもちろんであるが、民間企業や公務員志望の学生にとっても有益な時間となったことと思う。

受講学生にとっては、新卒者だからこそ戸惑う学校現場の出来事や勤務内容について実感を持って聞くことができたことであろう。

2コマ目は学級のスローガンを考えるという演習であった。どの学生も生き生きと活動していたことが印象的である。小グループの演習・協議・発表などは、学生の主体的な参加を促すためにも、今後も多く取り入れていきたいものである。

今後の課題として考えられることは、開始時間の厳守である。今年度は希望者が受講しているにもかかわらず、集まりが遅く、開始時間は守られなかった。忙しい中お出でいただいた外部講師に迷惑が掛からないような事前の指導が必要である。